サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）の概要

令和8年度予算　環境・ストック活用推進事業（36.02億円）の内数

別添2

現代の社会環境や経済環境を踏まえ、より暮らしやすい住生活を実現するため、社会や地域の抱える課題解決に向けて、先導性の高い技術や市場での普及が進んでいない技術等の活用・導入を図ることで、住宅の「新たな価値創造」を目指した先導的なモデル住宅の提案に対して支援を行う。

事業概要

【対象事業】 先導性の高い技術や市場での普及が進んでいない技術等の活用・導入に係るリーディングプロジェクトについて、下記の2タイプを支援

〈**先導タイプ**〉　住宅への実用化に向けた課題・効果等の実証事業を行う取組

〈**市場化タイプ**〉 市場化に向けた課題検証を、実際に供給される住宅において行う取組

【補助率】 調査設計計画費用、建設工事費、効果検証費等の1/2　等

【限度額】 1プロジェクトあたり3億円 ※1プロジェクト3年以内　等

【採択プロジェクト例】

健康管理：居住者のバイタルに連動したエアコン等の自動制御及び異常値の通知サービスにより居住者の健康管理を実現

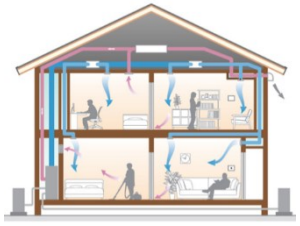


①温湿度のコントロール

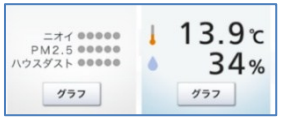
②バイタル測定

③見守り機能

家事負担軽減：空気質環境の見える化及びダクト式セントラル空調の導入により掃除回数の減少を実現



ダクト式セントラル空調



空気センサー　温湿度センサー



窓センサー

物流効率化：エントランスの遠隔解除により再配達削減を実現

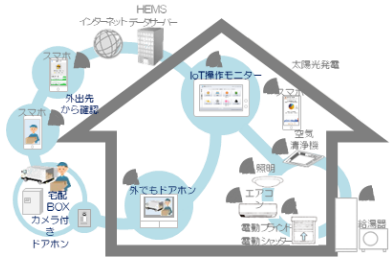
①ロビーインターホンから住戸をインターホンを呼出し

②インターホンからスマートフォンを呼出し

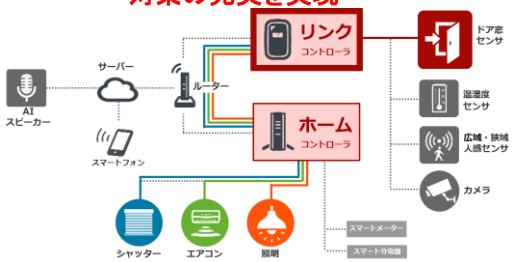
③スマートフォンで来客対応オートロックの解錠



IoT住宅：地域ビルダーとIoT機器メーカーの連携により、IoT技術の導入及び利用サポート、データ収集等を実施



防犯対策：AIスピーカー未対応の建具・家電とHEMSコントローラーの連携により防犯対策の充実を実現



※取組テーマは、高齢者・障害者等の自立支援、健康管理の支援、防犯対策の充実、家事負担の軽減・時間短縮、コミュニティの維持・形成、物流効率化への貢献、その他の7テーマ